

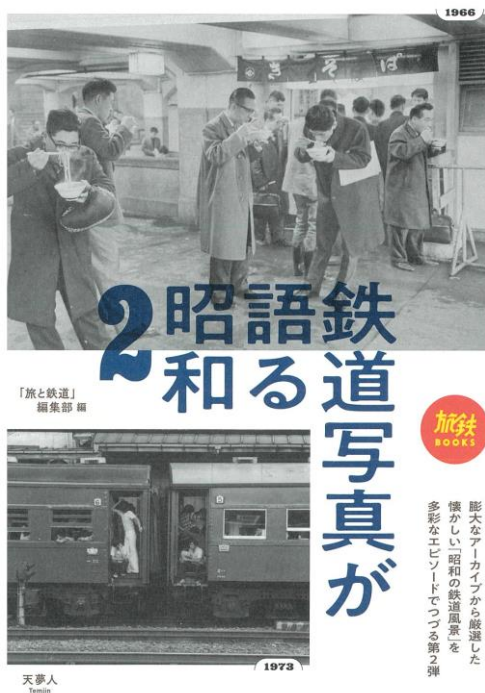
各 位

2018年4月13日
株式会社天夢人

大好評の旅鉄 BOOKS シリーズ「鉄道写真が語る昭和」の第二弾を発売！ 昭和の鉄道シーンの熱く元気な記憶がよみがえります

インプレスグループで鉄道・旅・自然メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2018年4月17日に、『鉄道写真が語る昭和2』（「旅と鉄道」編集部・編）を刊行いたします。

鉄道が熱かった時代、昭和の息吹を感じる37点の記憶がここに



大好評だった「鉄道写真が語る昭和」の第2弾。“鉄道が元気だった時代”、駅は単なる列車に乗り降りするための場所でなく、列車は単なる移動手段でなく、さまざまな人の営みが交錯する場所でした。「鉄道写真が語る昭和2」は、戦前、昭和20年代、昭和30年代、昭和40年代、昭和50・60年代と年代ごとの章立てとし、熱く元気な鉄道シーンを掲載しています。戦前の写真では大ヒットアニメ映画「君の名は。」の舞台とされる高山本線飛騨古川駅の開業前の風景や、人気の“秘境駅”として知られる飯田線小和田駅付近を走る前身の三信鉄道を旧型電車が走るシーンを掲載。昭和20年代では女性アテンダントの先駆けとなった「はとガール」など、貴重な写真が満載です。鉄道と人間が接する懐かしの風景を、鉄道写真の老舗・RGGのアーカイブの膨大な保存写真をはじめ、数々の報道写真からもセレクト。また旧足尾線などを長く取り続けてきた女性写真家・齋藤利江さんの写真も掲載しています。写真に添えられたコラムは単なる情景の説明にとどまらず、当時の社会情勢をふまえ、読みやすくも深い内容の1冊です。

【もくじ】

第1章 戦前の懐想（1926～1944）

「君の名は。」の舞台～高山本線全通（高山本線 飛騨古川駅）ほか

COLUMN 1 流行に乗り造られた流線形車両 効果なく点検もしにくく短命に

第2章 昭和20年代の懐想（1945～1954）



ゼロ戦のジュラルミンが「輪タク」に（新宿駅東口）

アテンダントの先駆け「はとガール」ほか

COLUMN 2 ボディーに白線を巻いた客車で最優先運行の進駐軍専用列車

第3章 昭和30年代の懐想（1955～1964）

伊勢湾台風で国鉄客車が避難所に（関西本線）ほか

COLUMN 3 初めての気動車特急「はつかり」 故障の多発に「がっかり」の声

第4章 昭和40年代の懐想（1965～1974）

2時間で500杯売れた立ち食いそば（東北本線 上野駅）ほか

COLUMN 4 昼は座席、夜は寝台として運行 モーレツ電車特急「月光形」

第5章 昭和50・60年代の懐想（1975～1989）



過熱したブルートレインブーム

1千万枚売れた「愛国から幸福ゆき」切符（広尾線幸福駅）ほか

COLUMN 5 日本の鉄道発祥の地で汽笛一声 JR誕生を祝ったC56形SL

【著者プロフィール】

「旅と鉄道」編集部

隔月刊（奇数月21日）にて発行される、鉄道の旅の魅力を伝える雑誌『旅と鉄道』。鉄道ファンから、旅好きまで多くの読者に愛されている。ローカル線や、蒸気機関車など定番の特集のほか、鉄道×アニメ、秘境駅、廃線など、幅広い新しいヒット企画も手がける。

【書誌情報】

書名：鉄道写真が語る昭和2

著者：「旅と鉄道」編集部・編

仕様：A5判 210×148 176ページ

定価：本体1500円+税

発売日：2018年4月17日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/2HrcOWN>

◎旅と鉄道の最新情報はこちらからも発信中

『旅と鉄道』公式Facebook <https://www.facebook.com/tabitotetsudo/>

『旅と鉄道』公式Twitter @tabitetsu_web

【株式会社天夢人】<http://temjin-g.com/>

2007年設立。現在、隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月21日発売）』（発売：山と溪谷社）を発行し、また2017年より、書籍・ムックの刊行も始めました。鉄道や旅をはじめ、自然、歴史・民俗、カルチャーなどを伝える雑誌や書籍を編集・発行し、豊かな人生をおくるための生活情報を発信していきます。

【インプレスグループ】<http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当 武田元秀

Tel: 03-6413-8755 / E-mail:takeda@temjin-g.com